

地球の歴史を伝える褐色の土と向き合う。



火の国 阿蘇の
恵みのブランド

阿
zen
A s o C i t y

九万年前、日本列島のひとつの火山が大噴火を起こした。

それは世界でも希少な規模のカルデラを形成し、

水を湛えた。カルデラ湖だ。やがて水は干上がったが

ミネラル豊富なマグマや植物などの有機物、そして溶け出した鉄分を多く含む堆積物が、はるかな時を超えて今に残された。

火山の名は阿蘇山、堆積物はリモナイト。

阿蘇ならではの褐鉄鉱である。この「火山の遺産」をもっとよく知り、

現代の人びとの暮らしに役立てる方途を考えよう。

そうしたころざしの組織に、辻誠さんは立ち上がりから参加した。

もともと森林インストラクターなど、環境や自然保護の

社会活動に積極的に取り組んできた人だ。

この堆積物により地球史を学ぶだけでなく、

「土壌改良や水質活性、畜産、

さらに硫化水素を吸着する脱硫剤として……」

幅広いビジネスチャンスに挑み、地域への実質的な貢献も追い求める。

赤みを帯びた土の野は、可能性を秘めた力強い荒野のよう。

そこにすくと立つ人の見ている先は、まさにアソ・ドリームである。

日本リモナイト 辻 誠

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。